

第 167 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	平成 29 年 9 月 15 日（金）午前 9 時 30 分～11 時 20 分 経済調査会会議室
出席委員	朝堀泰明、加藤佳孝、小路直彦、鈴木準、野口貴文（委員長）（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																														
1. 前回議事概要の確認 2. 「積算資料」10月号土木系資材の価格変動の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回議事概要案が承認された。 ・ 審査対象資材のうち、10月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 30%;"><品目></th> <th style="text-align: center; width: 20%;">[地区]</th> <th style="text-align: center; width: 50%;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">【上伸した資材】</td> </tr> <tr> <td>異形棒鋼</td> <td style="text-align: center;">全国</td> <td>製品市況に先高観がみられるなか、需要家側は先々の案件も含めて材料確保に動く。安値取引が一掃され、市況は上伸。</td> </tr> <tr> <td>H形鋼</td> <td style="text-align: center;">富山、石川、福井、中部、近畿、四国、沖縄</td> <td>鉄屑市況の上伸を受け、製販ともに売り腰を強めている。実需が伴ってきた西日本を中心に、市況は上伸。</td> </tr> <tr> <td>鉄屑</td> <td style="text-align: center;">全国</td> <td>夏枯れで市中発生量は低調に推移。問屋への入荷が振るわないなか、ヤード買い入れ価格の引き上げに伴い、上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砕石</td> <td style="text-align: center;">高知</td> <td>県内の生コンクリート需要の増加に伴い、安定供給をのぞむ需要者側が値上げを受入れ、市況は上伸。</td> </tr> <tr> <td>自由勾配側溝</td> <td style="text-align: center;">山口</td> <td>メーカーは出荷数量の減少に伴う固定費等の上昇を背景に値上げ交渉を継続。自治体発注工事における県産品の使用義務化も後押しし、打ち出されていた値上げの一部が浸透した。</td> </tr> <tr> <td>インターロッキングブロック</td> <td style="text-align: center;">中国</td> <td>出荷量の激減に伴う固定費等の上昇を理由に、中国地区大手メーカーは値上げ交渉を継続。需要者側が値上げの一部を受け入れ、上伸。</td> </tr> <tr> <td>ヒューム管外圧管 B型1種</td> <td style="text-align: center;">四国</td> <td>維持管理・更新工事など小口工事が中心であり、需要は低調に推移。昨年度以降、製造コスト増による値上げ交渉を継続的に進めてきた結果、市況は上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート積みブロック</td> <td style="text-align: center;">北海道</td> <td>災害復旧工事を中心に需要は旺盛で需給バランスが改善。価格交渉はメーカー主導の展開となり、打ち出されていた値上げの一部が浸透し、上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	【上伸した資材】			異形棒鋼	全国	製品市況に先高観がみられるなか、需要家側は先々の案件も含めて材料確保に動く。安値取引が一掃され、市況は上伸。	H形鋼	富山、石川、福井、中部、近畿、四国、沖縄	鉄屑市況の上伸を受け、製販ともに売り腰を強めている。実需が伴ってきた西日本を中心に、市況は上伸。	鉄屑	全国	夏枯れで市中発生量は低調に推移。問屋への入荷が振るわないなか、ヤード買い入れ価格の引き上げに伴い、上伸。	コンクリート用砕石	高知	県内の生コンクリート需要の増加に伴い、安定供給をのぞむ需要者側が値上げを受入れ、市況は上伸。	自由勾配側溝	山口	メーカーは出荷数量の減少に伴う固定費等の上昇を背景に値上げ交渉を継続。自治体発注工事における県産品の使用義務化も後押しし、打ち出されていた値上げの一部が浸透した。	インターロッキングブロック	中国	出荷量の激減に伴う固定費等の上昇を理由に、中国地区大手メーカーは値上げ交渉を継続。需要者側が値上げの一部を受け入れ、上伸。	ヒューム管外圧管 B型1種	四国	維持管理・更新工事など小口工事が中心であり、需要は低調に推移。昨年度以降、製造コスト増による値上げ交渉を継続的に進めてきた結果、市況は上伸。	コンクリート積みブロック	北海道	災害復旧工事を中心に需要は旺盛で需給バランスが改善。価格交渉はメーカー主導の展開となり、打ち出されていた値上げの一部が浸透し、上伸。
<品目>	[地区]	(理由)																													
【上伸した資材】																															
異形棒鋼	全国	製品市況に先高観がみられるなか、需要家側は先々の案件も含めて材料確保に動く。安値取引が一掃され、市況は上伸。																													
H形鋼	富山、石川、福井、中部、近畿、四国、沖縄	鉄屑市況の上伸を受け、製販ともに売り腰を強めている。実需が伴ってきた西日本を中心に、市況は上伸。																													
鉄屑	全国	夏枯れで市中発生量は低調に推移。問屋への入荷が振るわないなか、ヤード買い入れ価格の引き上げに伴い、上伸。																													
コンクリート用砕石	高知	県内の生コンクリート需要の増加に伴い、安定供給をのぞむ需要者側が値上げを受入れ、市況は上伸。																													
自由勾配側溝	山口	メーカーは出荷数量の減少に伴う固定費等の上昇を背景に値上げ交渉を継続。自治体発注工事における県産品の使用義務化も後押しし、打ち出されていた値上げの一部が浸透した。																													
インターロッキングブロック	中国	出荷量の激減に伴う固定費等の上昇を理由に、中国地区大手メーカーは値上げ交渉を継続。需要者側が値上げの一部を受け入れ、上伸。																													
ヒューム管外圧管 B型1種	四国	維持管理・更新工事など小口工事が中心であり、需要は低調に推移。昨年度以降、製造コスト増による値上げ交渉を継続的に進めてきた結果、市況は上伸。																													
コンクリート積みブロック	北海道	災害復旧工事を中心に需要は旺盛で需給バランスが改善。価格交渉はメーカー主導の展開となり、打ち出されていた値上げの一部が浸透し、上伸。																													

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果												
<p>○インターロッキングブロックについて需要家側が値上げを受け入れたとのことだが、ここでいう需要家とはどの段階の業者のことか。</p> <p>○材料価格の値上げにあたって、組合組織ではなく個々の業者が値上げを打ち出した場合、同業他社も足並みを揃えて値上げに動くものなのか。</p> <p>○生コンクリート価格の上昇幅について、その内訳を考えた場合、砕石・骨材の価格の上昇幅が少ないように感じるが。</p> <p>○生コン組合の場合、力関係で言えばゼネコンの方が強いにもかかわらず、価格が大きく上昇することがあるのはなぜか。</p>	<p>・インターロッキングブロックの場合、一部にメーカーが施工するケースもあるが、ここでは主に施工業者のことを指している。ブロック材料費の値上げを施工業者が受け入れたということ。</p> <p>・組合がないケースでの値上げの場合、一般的に先行して動く会社と様子見をする会社に分かれることが多い。指摘のとおり、どこか1社が値上げを打ち出したからといって、必ず他社も追随するとは限らない。需要者側が、値上げの打ち出しに対抗して、県外等の他メーカー等から安い製品を持ち込むというケースもある。</p> <p>・骨材業者は生コンクリート向け以外にも骨材を供給しており、需要者は生コン業者だけではないということがある。また、需要者側である生コン業者との力関係が大きく違うことにも影響している。</p> <p>・上手に運営し、組織率の高い組合などが、時としてゼネコンとの力関係で負けていない例は数多くある。一方で骨材業者の場合、生コン組合の例にあるような上手な組合運営がなされているケースは少なく、需要者側との力関係で不利な面は否めない。</p>												
<p>3. 「積算資料」10月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>・審査対象資材のうち、10月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="1" data-bbox="638 1086 1452 1512"> <thead> <tr> <th data-bbox="638 1086 861 1131"><品目></th> <th data-bbox="861 1086 1085 1131">【地区】</th> <th data-bbox="1085 1086 1452 1131">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="638 1131 861 1176">【上伸した資材】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1176 861 1310">型枠用合板</td> <td data-bbox="861 1176 1085 1310">全国</td> <td data-bbox="1085 1176 1452 1310">原材料となるラワンに対し伐採税が導入される等、産地での値上げが浸透。輸入量の減少を受け、国内市況は上伸した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1310 861 1512">電線ケーブル</td> <td data-bbox="861 1310 1085 1512">全国</td> <td data-bbox="1085 1310 1452 1512">電気銅建値の急騰を受け、製造コストの上昇は吸収不可能な水準となる。メーカーの打ち出した値上げが需要者側に受け入れられ、市況は上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	【地区】	(理由)	【上伸した資材】			型枠用合板	全国	原材料となるラワンに対し伐採税が導入される等、産地での値上げが浸透。輸入量の減少を受け、国内市況は上伸した。	電線ケーブル	全国	電気銅建値の急騰を受け、製造コストの上昇は吸収不可能な水準となる。メーカーの打ち出した値上げが需要者側に受け入れられ、市況は上伸。
<品目>	【地区】	(理由)											
【上伸した資材】													
型枠用合板	全国	原材料となるラワンに対し伐採税が導入される等、産地での値上げが浸透。輸入量の減少を受け、国内市況は上伸した。											
電線ケーブル	全国	電気銅建値の急騰を受け、製造コストの上昇は吸収不可能な水準となる。メーカーの打ち出した値上げが需要者側に受け入れられ、市況は上伸。											
<p>○型枠用合板の原木に対する伐採税について、このような税の税率が上がっているのは国際的なトレンドと言えるのか。</p> <p>○電線ケーブルの調査結果について、調査先のうち3社の最頻値、最安値、最高値が同じ価格となっているのは偶然なのか。</p>	<p>・原木の伐採が厳しくなっているのは国際的なトレンドと言える。ただし、サラワク州の場合は、環境破壊対策であると同時に、これを機にしっかりと税収を確保していきたいという意向が強く働いている模様。</p> <p>・電線ケーブルの場合、電線メーカーから販売店への卸価格は、国内の電気銅建値に連動して取り引きされている。一方、当会の調査段階である販売店から工事業者への販売価格は、各社各々の運用銅ベースからの値引率による取り引きであり、調査対象業者の考えている価格水準が同程度であった場合、調査結果としての最頻値、最安値、最高値が同じ価格となることはあり得る。</p>												
<p>4. 「土木施工単価」秋号土木工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p>・審査対象工種のうち、秋号で掲載価格に変動が生じる土木工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>												

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
	<品目>	【地区】	(理由)
<p>○港湾工事に対応できる専門工事業者に特殊性はあるか。</p> <p>5. 「建築施工単価」秋号建築工事費の価格変動の妥当性について</p>	【上伸した工種】		
	鉄筋工（港湾） コンクリート打設工（港湾）	北海道、 東京、新潟、愛知、 大阪、広島、香川、 福岡、沖縄	小規模工事の増加による施工性の低下や作業員確保に伴うコスト負担増を工事価格に転嫁すべく、強気な交渉を継続してきた専門工事業者側に対し、元請業者が値上げの一部を受け入れ、市場価格は上伸。
	<p>・大きな特殊性はないものの、土木、建築と構造が異なるため、普段から港湾工事関連の鉄筋工、コンクリート打設工などに従事している職人をとりまとめる専門工事業者が現場に入ることが多い。</p>		
	<p>・審査対象工種のうち、秋号で掲載価格に変動が生じる建築工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>		
	<品目>	【地区】	(理由)
	【上伸した工種】		
	型枠工事 鉄筋工事	福岡、那覇	民需を中心に旺盛な需要があり、労務の需給にひっ迫感が出つつある。専門工事業者側の強気な価格交渉により、市場価格は上伸した。
	【下落した工種】		
	型枠工事	仙台、大阪、広島	S造の基礎や小規模なRC造が中心で需要は低迷。専門工事業者側の工事量確保に向けた安値受注が目立つなか、市場価格は下落した。
<p>○建築の型枠工事は建築専門が多いのか。</p> <p>○型枠工事、鉄筋工事ともに市況が下落している地区は、工事量が少ないというところか。</p> <p>○大阪地区の型枠工事の施工単価は、全国的に最も安い水準にあるが、統計上では建築工事の発注量は必ずしも少ない。その点については如何か。</p>	<p>・建築工事の型枠専門工事業者は、建築専門がほとんどである。</p> <p>・その通り。特に中堅ゼネコンの手持ち工事が不足している傾向にある。</p> <p>・RC造がS造に押されている傾向が見られる。建築全体の発注量は必ずしも少なくないとしても、型枠工事の工事量は確実に減少している。</p>		
<p>6. その他</p> <p>(1) 次回開催予定</p>	<p>・平成29年10月17日（火）15時～17時と決定。</p>		
	(以 上)		

価格審査委員会規約

(目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

第 2 条 委員会は、理事長の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

- 第 3 条 委員は、公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、理事長が委嘱する。
- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
 - 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

- 第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。
- 2 委員長は、委員会を代表する。
 - 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

(審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて理事長に対し審査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由、他調査機関の調査結果との比較資料等を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改訂施行する。